

線と言葉 楠本まきの仕事

基本情報

期間

2021年6月10日[木] - 8月30日[月]

開催日数

82日間

会場

京都国際マンガミュージアム 2階
ギャラリー 1・2・3

主催

京都国際マンガミュージアム/
京都精華大学国際マンガ研究センター

監修

楠本まき

ゲストキュレーター

楠本亜紀

アートディレクター

秋田和徳

協力

Landschaft

ビデオ協力

フライングドッグ

担当

ユースギョン

「KISSxxxx」、「Kの葬列」、「致死量ドーリス」、「赤白つるばみ」シリーズなどの作品で知られる漫画家・楠本まきの37年にわたる仕事を通覧する展覧会。楠本まきは、文学的な言葉の表現と特徴ある黒と白の線描によって構成された画面、装幀のこだわりも含め、比類なき美学を貫き続けてきたことから、マンガ界内外で多くのファンを獲得している。本展は、これまで行われてきた楠本まきの個展としては最大規模となり、作者本人が展覧会全般を監修したことで、楠本作品の世界観が伝わる展示となった。また、楠本作品の最大の理解者とも言える楠本亜紀と秋田和徳がそれぞれゲストキュレーターとアートディレクターとして参加したことも注目を浴びた。本展では、耽美で退廃的、巧緻でスタイリッシュな世界を生み出す楠本まきの仕事をテーマにしており、普段は読者の目に触れない原画や、エッチング、全書籍、手書き指定の入った校正紙、ファックス、作品内に描かれた小道具などが展示された。

[文責=ユースギョン]

展示内容

- 楠本まき作品の原画(計30点)
- エッチング、全書籍、手書き指定の入った校正紙、デザイナーと交わしたファックス、作品内に描かれた小道具、「Kissxxxx」のイメージビデオとそのスライドなど。(約150点)

関連書籍記事

- | 書籍 | 記事 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">展覧会に合わせ、関連書籍『線と言葉・楠本まきの仕事』(Landschaft、2021年)が刊行された。作品解説、楠本へのインタビューや編集者、デザイナーとの対談、京都国際マンガミュージアム館長・荒俣宏による寄稿などを収録。 | <ul style="list-style-type: none">「京都国際マンガミュージアム『線と言葉・楠本まきの仕事』展 作品と制作背景から感じる、こだわり抜いた独自の世界観」『美術展ナビ』2021年8月16日
(https://artexhibition.jp/topics/news/20210816-AEJ477553/)「漫画家 楠本まき 線と言葉に宿る美学 37年をたどる」『朝日新聞』2021年8月6日
(https://www.asahi.com/articles/ASP844RRZP7YPTFC00G.html)「革新を描く線と言葉の美 少女漫画の枠を超越、楠本まき展 京都」『毎日新聞』2021年8月11日
(https://mainichi.jp/articles/20210811/ddf012/040/006000c)「線と言葉・楠本まきの仕事/京都国際マンガミュージアム」『京都新聞』2021年8月4日
(https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/611754) |

展覧会紹介動画

- 本展の録画記録は、YouTube「京都国際マンガミュージアム」チャンネル
(<https://www.youtube.com/watch?v=wscFWPTpMqU>)で視聴可。
撮影・編集:ディレクターズ・ユニブ

会場風景。
(写真=ディレクターズユニブ)

